

熊本県言語聴覚士会

Speech Language Hearing Therapist

会報 *KSTNET*

第31号 2008年1月4日発行



発行：熊本県言語聴覚士会

直通ダイヤル 070-5961-4461(受話専用)
〒862-0913 熊本市尾ノ上1丁目14-27
熊本託麻台病院(事務局)
TEL 096-381-5111(内線228)
FAX 096-381-5115
E-mail: takumadai-st@horio-kai.or.jp

編集：広報部

〒869-3205 宇城市三角町波多2864-111
メディカル・カレッジ青照館
TEL 0964-54-2211
FAX 0964-54-2213
E-mail: yamaguchi@seishoukan.ac.jp

責任者：山口 信

会長からのメッセージ



熊本県言語聴覚士会 会長 小園真知子

2008年を迎えるにあたって

2007年は、全国協会の呼びかけに合わせて、熊本県でも、初めての「言語聴覚の日」を開催することができました。初年度で、十分な予算もないままでしたが、各ブロックでそれぞれの工夫を凝らして、地域へ啓発活動を実行していただきました。準備から何回も会議に参加してくださった各ブロック長を始め、当日協力いただいた会員の方々、学生さんには心よりお礼申し上げます。

小児の領域では、小児訓練のできる医療機関を増やすため、県士会の有志で活動している「くまもと子どもサポートNET」が、この3年間の成果を「小児言語リハビリ開設の手引き」としてまとめました。近日中に、県士会会員の所属する施設に配布いたします。

また、啓発活動の一助として、熊本県士会の紹介DVDも作成中です。医療福祉関係者をはじめとして、行政や教育、また一般の方々に私達の仕事を知っていただき、言語障害に悩む方々がいつでもどこでも相談できるようなシステム作りに役立てたいと思っています。

当県士会の発足以来、一貫して啓発活動、会員の生涯学習に努めてきてはいますが、全体としてはまだまだ、十分とはいえないかもしれません。県士会開催の研修会はもちろん

ですが、関連団体の研修会にもぜひ積極的にご参加いただくことで、他職種との相互理解が広がるものと思います。

2月6日は、【熊本訪問リハビリテーション研究会】において、高齢者のグランドデザインに基づいた新方針について PT,OT,ST の立場からのシンポジウムが開催されます。また、2月9日には、【熊本県立大学創立60周年記念シンポジウム】で、文学部のシンポジウムテーマに「失語症の理解」が取り上げられ ST の立場から発表する予定です。3月2日は、【熊本医療保険福祉連携学会】が開催され、一人の患者の問題点について、それぞれの職種がどのようにアプローチするのかという興味深い企画が立てられていますので、ぜひご参加ください。詳細は、県士会ホームページの行事案内に掲載いたします。

10月に発足した新事務局は、大塚事務局長のもと複数の病院所属の会員が事務局員として活動する体制をとり、より民主的に活発に運営がなされています。

2007年の世相を表わす漢字が発表されましたが、今年選ばれたのは「偽」ということで、書を書く人の感想も、日本人として情けないというものでした。

私達は、まだまだ発展途上の団体ですが、ぜひ、真実の「真」と信頼の「信」をモットーとして掲げていきたいものだと思っています。

2008年も、ぜひ、言語障害への理解を助け、仲間を増やす努力をしていく所存ですので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ブロックだより

- 北部ブロック
荒尾・玉名・山鹿・鹿本
- 東部ブロック
菊池・阿蘇
- 中部ブロック
熊本
- 南部ブロック
益城・八代・人吉・球磨・水俣
- 西部ブロック
宇土・天草



[北部ブロック報告]

北部ブロックは10月28日(日)、姫路獨協大学准教授福永真哉先生をお招きして「ディサースリアの評価と訓練」という表題で、講習会を実施しました。日曜日とはいえ、日頃からみなさん悩んでいた領域なのか参加者は95名、会場は熱気にあふれていました。参加者の感想として多かったのが具体的な訓練内容が聞けて非常に良かったといった内容でした。参加された皆さんお疲れさまでした。

北部ブロックでは次回よりブロック長が大塚より朝日野総合病院の山本実先生にバトンタッチいたします。急な引き継ぎにより、皆様方に御迷惑おかけすることもあるかと思いますがどうか御指導よろしくをお願いいたします。

菊南病院 大塚裕一

[東部ブロック報告]

10月25日(木)くまもと成仁病院で勉強会を行いました。内容は西合志病院 山下千明先生から「NST活動報告」を、くまもと成仁病院 内田智香先生から「当院での摂食・嚥下障害の取り組み」を発表していただきました。

2題とも嚥下障害がテーマで、嚥下リハシステムや他職種間との連携の工夫について参加者の間で情報交換を図ることができ、有意義な勉強会となりました。

次回の勉強会は3月に開催する予定です。

東部ブロック長 山本由佳

[中部ブロック報告]

師走となり、寒さが厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

中部ブロックは10月23日(火)に桜十字病院で、施設見学・勉強会を開催しました。勉強会の内容は、桜十字病院の栗田先生に『芸術的表現を用いたアプローチにより書字課題が可能になった症例』について、峠先生に『桜十字病院のST業務』について発表していただきました。施設見学ではとても綺麗な院内に参加者は皆、感嘆の声をあげていました。

また、12月13日(木)には中部ブロック忘年会を開催しました。とても楽しい雰囲気の中、近況報告をしあい、反省・抱負を語り合いました。中部ブロックは経験年数の浅いSTが多いため、みんなで協力してブロックを盛り上げていきたいと思えます。

皆様、来年もどうぞよろしくお願いたします。

熊本赤十字病院 前田紗知

[南部ブロック報告]

南部ブロック活動報告

南部ブロックでは平成19年9月9日(土)に城南病院の江村貴文先生による勉強会が開催されました。内容は①施設見学・紹介、②症例報告、③言語聴覚療法の開設からの流れ、でした。他施設の先生方からは症例へのアプローチや業務上の工夫・カルテ記載方法など多くのアドバイスがありました。一人職場の開設ということ、様々な場面でのご苦労や孤軍奮闘されている様子がひしひしと伝わってきました。南部ブロックは江村先生と同じように一人職場という状況で頑張ってる方も多いため、参考になったのではないのでしょうか。今後も定期的な勉強会を予定していますので、ご参加下さい。

にくまもと病院 中村舞

[西部ブロック報告]

去る12月21日(金)、西部ブロック第4回研究会が開催され、その後忘年会をおこないました。出席者は9名でした。

研究会の発表は天草第一病院の戸北先生で、議題は「失語症を呈した患者様の職業復帰について」でした。内容においては、現役で仕事をされている方が脳梗塞により失語症になられ、職業復帰を目標に言語訓練を開始する中で、『はたして職業復帰は可能なのか?』また『職業復帰できるまで、訓練はどのくらいの期間が必要なのか?』『どのレベルまで改善

するのか?』と聞かれた場合、何を判断材料にすればいいのか?どのような説明をすればいいのか?などといった疑問について、参加者全員で考え、予定していた時間をオーバーするほど様々な意見が交換され、とても熱い研究会となりました。

また研究会の後は、忘年会が開かれました。研究会の熱が冷めぬまま忘年会会場に足を運んだ先生方は、その後も熱い意見が飛び交っていました。また1年間のそれぞれの思い出や、地元の話題でみなさんとても盛り上がっていたようです。忘年会がおこなわれたことで、普段ではなかなか話せない仕事の話や私生活などの話もでき、有意義な時間となりました。

西部ブロック長 池田聖司

熊本市健康 フェスタ報告



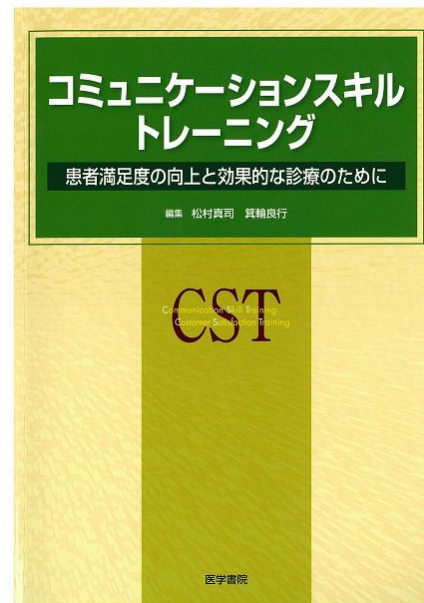
熊本市健康フェスティバルに参加して9月29日(土)30日(日)の2日間にわたり、恒例の健康フェスティバルが開催されました。当会は今年度の担当は中部ブロックで、総勢26名で参加しました。内容は聴力検査、言語と聞こえの相談、頭の体操と昨年同様の内容で臨みましたが、今年は参加者が多く両日を合わせておよそ320名と例年になく多くの方の参加となりました。この理由は、おそらく今年度より熊本県言語聴覚士会で実施する内容が一般検診の結果記載項目に入れられたためによるものと思います。参加者が多かったということで有益なコマーシャルができたのではないかと感じています。当日、お手伝いをしていただいた中部ブロックの皆さん、本当にお疲れさまでした。

(元) 事業部 市民健康フェスティバル担当

大塚裕一



『コミュニケーションスキルトレーニング-患者満足度の向上と効果的な診療のために-』



[編集] 松村真司・箕輪良行

[出版日] 2007年9月15日

[発行所] 医学書院

[紹介]

卒前のコミュニケーション教育についてはその重要性がずいぶん認識され、医学部を始めとしてカリキュラムに組み込む医療人養成校も増えて来ました。しかし、こうしたコミュニケーションスキルを学んだ経験のない医療従事者(特にベテラン医師)も多いのが実情です。

本書はそうした方々を対象にした卒後コミュニケーションスキルトレーニングの方法について記述したものです。

基本的に医師向けですが、リアルな患者とのやり取りが豊富で、ST向けとしても十分参考になる内容だと思います。

現場の先生方の自己検証や、院内の新人研修などに活用できる本です。



平成19年度 第3回 理事会議事録

開催日時：平成19年10月26日（金） 19:00～21:00

開催場所：菊南病院

出席者：小藪、三浦、丸内、中村（舞）、鋤田、折口、橋口、林、宮本、下田、花生、重川、後藤、大塚

書記：宮本

【報告事項】 * 議案書参照

- ・ 言語聴覚の日開催(2007年9月1日)

※ポスター配布

- ・ 県歯科医師会会長訪問 2007年8月7日 県医師会会長訪問 2007年8月8日

県庁訪問 2007年8月16日 市役所訪問

2007年8月17日

- ・ 医保福連携学会 第一回企画委員会 (2007年8月8日)
 - 第二回企画委員会 (2007年9月18日)
 - 第三回企画委員会 (2007年10月19日)
 - ・ プライマリケア委員会 (2007年10月1日)
 - ・ 熊本市医師会 100周年記念祝賀会 (2007年10月13日)
 - 講演会を受けてくださるとの話あり。
 - ・ 地域リハ広域支援センター会議 (2007年10月17日)
 - ・ プライマリケア研究会研修会 (2007年10月17日) ※代理、森田理事出席
 - ・ 第13回高次脳機能検討会 (2007年10月29日)
- ※講演会(11月14日)参加者呼びかけ、いままで総括した資料も配布予定

【各ブロック報告】

ブロック報告参照

【検討事項】

事務局変更に関する報告

事務局が託麻台病院から菊南病院へ移動→部局員の編成を行う

- ・ 編成メンバー

事務局長：大塚雄一（菊南病院）

事務局次長：後藤伸一郎（メディカルケアセンターファイン）

名簿・名簿管理係長：田中亜矢子（西日本病院）以下、西日本病院スタッフ

ブログ管理係長：吉松亜矢子（東野病院）以下、東野病院スタッフ

郵便管理係長：宮本恵美（菊南病院）以下、菊南病院スタッフ

総会運営係長：原口昭博（朝日野総合病院）以下、鎌崎佑佳（にしくまもと病院）、井上絢（山鹿温泉リハビリテーション病院）、大崎功二（熊本リハビリテーション病院）

事業部報告

①市民健康フェスティバル報告

来場者数 340名ほど

参加スタッフ

9/29 中部ブロック 10名

事業部 2名 学生 1名

9/30 中部ブロック 8名

事業部 3名 学生 1名

<内容>

聴力検査

脳力チェック（パズル・7シリーズ）

嚥下障害に関する相談

嚥下食の提示（栄養士会との提携）

今回は健康診断の流れの中に当協会の課題も入れられたため参加者が多い結果となった。

<反省点>

初日、スタッフが若干足りず、昼食時間がずれ御迷惑をかけた。

②言語聴覚の日報告

<内容>

- ・失語症劇 ・講演「言語障害って何？」

北部ブロック 来場者 約60名
 中央ブロック 来場者 約20名
 西部ブロック 来場者 約40名
 東部ブロック 来場者 約30名
 南部ブロック 来場者 約60名

<各ブロックからの感想>

- ・ 学生の劇に対する評判はどのブロックでもよかった。
 - ・ 劇の音が聞こえにくかった。
 - ・ 事前の広報がうまくいかなかった。
 - ・ 講演会の資料がほしいとの声があった。など
- *南部ブロックでは2回に分けて講演会を行うほど参加者希望の方が多く、特に2回目の講演には120名の参加があったとのこと。

③DVD作成完成報告

- ・ 小児の分野が少なかった為、作り直す予定。

学術研究部報告

学術研修会 12月2日

参加費500円、産業文化会館、演題11月9日締め切り

その他

ST会も平成21年度10周年となる。今後、企画検討していく。

来年(平成20年)の会費について検討を行う。(現在の会費4000円では足りない?)

サポートネット(開設の手引き)作成中→今年度中に完成予定。ターゲットを明確にする。

次回理事会:平成20年1月11日開催予定

会計より

年会費未納の方は、下記の口座に納入お願いします。年会費は4000円です。
 肥後銀号 清水支店 普通預金
 口座番号 1483841
 名義 三浦真弓(ミウラマユミ)
 県士会の活動は全て皆様の会費により行われています。なにとぞよろしくお願いいたします。



[くまもと ST こどもサポート NET 定例会]

[日時]1月26日(土)19:00-

[場所]江南病院 5階会議室

[話題]コミュニケーションの育ちについて

[スケジュール]

19:00-コミュニケーションの育ちについて

20:10-質問応答・意見交換

20:25-情報交換・ケース相談

20:40 閉会

[熊本県立大学創立 60 周年記念シンポジウム]

[題名]「冬・進歩…大学と社会」

[開催日]平成20年2月9日(土)

[開催場所]熊本県立大学

[プログラム]

第1部 学部フォーラム(13:00-15:00)

- ・文学部フォーラム

テーマ「あなたの”ことば”が失われるとき-失語症と大学での言語研究-」

場所:新講義棟中講義室2

①研究成果報告

講師:小菌真知子氏

(熊本県言語聴覚士会会長・言語聴覚士)

:村尾治彦氏

(熊本県立大学文学部准教授・認知言語学)

:熊本県立大学文学部学生

:馬場良二氏

(熊本県立大学文学部教授・日本語教育)

②パネルディスカッション

- ・環境共生フォーラム

テーマ「学問のおもしろさ-環境共生学部10周年にむけて-」

①講演「宇宙ってなんだか知ってますか？」

講師:岡村定規氏

(東京大学理事・副学長・理学博士)

②「環境共生学部 9 年間の歩み」

講師：大和田紘一氏(熊本県立大環境共生学部長)

③環境共生学研究の最前線

各専攻の若手研究者による研究紹介

④卒業生の座談会「環境共生学部に学んで」

各専攻の卒業生参加による座談会

場所：新講義棟中講義室 3

・アドミニストレーション・フォーラム

テーマ「熊本から見た東アジア-異文化との付き合い方-」

場所：大講義棟大講義室

講演「東南アジアと私の付き合い-教え、教えられたこと-」

講師：蓑茂壽太郎氏

(熊本県立大学理事長・農学博士)

第 2 部 特別講演(15:30-16:50)

場所：大講義棟大講義室

講演「学ぶことと、実践することの違い～24 年間の町長としての経験から～」

講師：宮崎暢俊氏

(熊本県立大客員教授・前小国町町長)

第 3 部 記念パーティー

場所：大学内学生食堂

同窓生・教職員(退職者含む)等の参加による立食形式パーティー。会費 3000 円。学生によるアトラクションもあります。

[申込方法]

卒業生以外の場合事前連絡

[申込・問合せ]

熊本県立大学事務局企画調整室

〒862-8502 熊本市月出 3-1-100

TEL 096-383-2929(内線 228)

FAX 096-384-6765

E-mail:kikaku@pu-kumamoto.ac.jp

[第 48 回熊本神経心理研究会]

[日時]平成 20 年 2 月 22 日(金)18:30-20:45

[場所]くまもと県民交流館パレア 9 階 会議室 1

〒860-8554 熊本市手取本町 8-9

テトリア熊本ビル

TEL 096-355-4300

E-mail:parea@pref.kumamoto.lg.jp

[内容]

特別講演

「認知症診療に必要な神経心理学的基礎知識」

池田学先生 熊本大学大学院医学薬学研究部

「神経心理学を学ぶ人のための Q&A」

稲富雄一郎先生 済生会熊本病院脳卒中センター
一般演題

[申込先]

熊本機能病院内 熊本神経心理研究会事務局

TEL 096-345-8111 FAX 096-345-8188

E-mail:kumamoto-npm@juryo.or.jp

[日本コミュニケーション学会第 23 回講習会]

[日時]2008 年 3 月 1 日(土)10:00-16:30

[会場]横浜ラポール 1 階ラポールシアター

電話 045-475-2001

新横浜駅徒歩 10 分

[講師と講義内容]

講師：宮森孝史先生

東海大学文学部心理・社会学科

10:00-12:00 1. 脳と心の視点・神経心理学の基礎 1

13:00-15:00 2. 脳と心の視点・神経心理学の基礎 2

3. 右脳とコミュニケーションの関係

15:20-16:30 4. 脳からみた感情・情動の問題

5. 軽度発達障害者問題

[定員]200 名(先着順)

[参加費]会員 4000 円、非会員 8000 円、学生 3000 円

[申込締切]2008 年 2 月 15 日(金)

[申込方法]FAX にて、後日参加費振込み

[申込先]〒185-0021 東京都国分寺市南町 3-7-11

サンハイツカワバタ 202

日本コミュニケーション障害学会

TEL/FAX 042-324-7397

編集後記

個人的な事情で KSTNET を編集するのはこれが最終ということになってしまいました。今までありがとうございます。(信)

s.yamaguch@seishoukan.ac.jp